

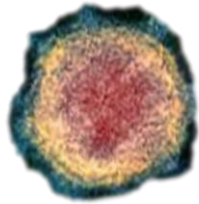
～今月の花木～



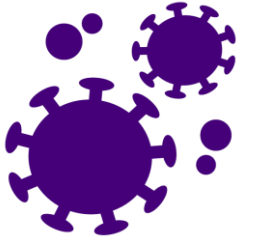
サルスベリ 猿滑

ミゾハギ科・落葉小高木・中国原産

別名、百日紅(ひやくじつこう)の如く、7月から10月頃まで長期間咲き続ける。咲き終わった枝先を早めに切り戻すと再萌芽した枝先から、また開花する。



コロナ禍、雑感



今年の今頃は東京オリンピックが開催され、連日その話題で盛り上がり、人々や社会に明るさや高揚感がもたらされ、世界中から大勢の人が押し寄せ、様々な産業がフル稼働し、好景気に沸いているはず…というシナリオは、今年の春先から影響が顕著になってきた新型コロナウイルスにより、崩れ去りました。オリンピック延期以外にも、休校や休業、不要不急の外出自粛、イベントの中止等々、程度の差こそあれ、コロナ禍による何かしらの影響が無い人は恐らくいないことでしょう。

造園業が主である弊社では、休業要請やお客様が来ない、呼べないという業種・業態と比べれば、コロナ禍によるダメージは今のところ小さいですが、良くも悪くも影響はあります。この数か月の出来事などを振りかえり、裏面の昭和記念公園の様子も合わせてご覧いただければ幸いです。

2020年も半分以上が過ぎましたが、年初には新型コロナウイルスによる影響が、今のようにならざるに及ぶことにはならない日々が続いていきます。7月下旬現在でも感染者は増加傾向であり、今後の見通しもはっきりしない状況です。

仕事をしている中で、コロナの影響で「が増えてきました。例年発注や動きのある仕事が延期・中止され、年度当初の仕事量が薄くなりました。営業活動などは不要不急のカテゴリーとされ、訪問出来ない箇所が増え、4月7日～5月25日までの緊急事態宣言中は特に厳しい状況で、新規開拓や受注はさっぱりでした。

業務では、学校関係などの仕事では休校により人がいなくて作業がし易かった反面、ある作業箇所では立入禁止となり、その期間が解除されるまで仕事が出来ない等々、良くも悪くも影響がありました。6月後半ぐらいからは、草木も伸びる時期でもあり、仕事量は持ち直して来ています。

広い視野で見ればコロナ禍により、世界中の経済活動はズタズタになった反面、一時的かも知れませんが、環境が浄化され、環境の改善が見られたなど良い面もあります。身近な生活様式から地球環境に至るまで、このコロナ禍から、何か良い方向へ変わる機会になればと思います。

重い腰を上げて

ずっと前からやろうと思いつつ出来なかった庭の改善作業が、外出自粛が続く、気軽に旅行などに行けなかった5月の大型連休中にやっと出来ました。

外水栓の前にコンクリート平板とタマリユを配して足元のぬかるみや泥跳ねの改善と、半日陰で苔が勝手に生えるような場所に平板と飛び石を置いて苔庭風にしてみました。



(作業前)



(作業後)

コロナ禍、いいんだか、悪いんだか

この仕事

(休校などにより)人がいない現場での仕事は、やりやすかった。

発注の延期などで、6月くらいまでの受注が減った。今後、不要不急の公共事業は延期や中止らしい。

(三密を避けるため)気の乗る、乗らないに関わらず、会合が減った、なくなった。

訪問しないでオーラで、新規開拓営業がやりやすくなった。テレワークは出来なかった。

生活

手洗いやうがい、換気をまめにするようになった。健康管理に気がつくようになった。

人と会う機会が減り、集まりづらい雰囲気になった。出かけるのを躊躇するようになった。

ステイホームで、普段出来なかったことや懸案事項が出来た。

ステイホームで、旅行や遊びに行きづらくなり、ストレスで酒がふえた。

環境

(操業や移動自粛で)工場の排煙や飛行機や車の排気ガスが減り、一時は世界的に空気がきれいになった。

(観光客等の減少で)野生動物や自然環境の改善がみられた。

交通渋滞が緊急事態宣言中は特に減り、移動が楽だった。

お持ち帰り容器などのプラゴミがふえている。紙製や木製にならないものか。

世間

お上の打ち出したコロナ対策には多くの人が協力し、それなりに効果はあった。

コロナ禍で多くの産業が疲弊している。影響が大きい業種・業態からの他業種への転職者はふえるのだろうか。

飲食店に入る客が減り、待ち時間が減るなど外食がしやすくなった。

飲食業のテイクアウトが非常に流行るようになった。

休園を乗り越え～昭和記念公園

立川市にある、国営昭和記念公園の草花管理の仕事させていただいており、休園期間中も休園解除後も草花管理作業をしています。

休園中 3/28～5/31

お客様の来ない休園中も維持管理作業は実施していました。スタッフからは、人がいなくて草刈などの作業がし易い反面、せっかくやったのに誰も見に来てくれる人がいないなどの声が聞きました。

作業的には、普段出来なかった事や新しい事が出来て仕事が進み、花からのピンチも一生懸命やり、花の咲き具合は例年以上に良かったとのことでした。



2020.4.23 溪流広場 (チューリップ)



2020.4.23 南花畑 (菜の花)



2020.5.1 西花畑 (ミックスフラワー)



2020.5.1 ハーブの丘 (ネモフィラ)



新しく取り入れた、ダリアの支柱養生例

☆大雪も乗り越えて☆

園内にある「花の丘」では、例年5月頃には「シャーレポピー」、10月頃には「コスモス」と年に2回、花の見ごろを迎えます。右の写真はシャーレポピーの3月～5月の様子です。



2020.3.17



2020.3.30 関東地方に大雪



2020.5.9

休園解除後 6/1～

夏から秋にかけて、大きな花畑で見ごろを迎える、ヒマワリ、キバナコスモス、コスモスの管理作業のほか、園内各所での作業を続けています。詳しい花の開花情報は昭和記念公園のホームページでご確認ください。

—今年のプールと花火大会は中止です—

ヒマワリ

場所：
原っぱ西花畑

見頃予定：
8月上旬～
花期は短め



2020.7.9



2020.8月上旬～見頃予定 (イメージ)



ハーブの丘 ヒマワリ (品種：サンフィニティ) 草丈1m前後の低いヒマワリで、花期は普通種に比べて長い

キバナコスモス

場所：
原っぱ東花畑

見頃予定：
9月中旬前後



2020.7.9 (作業中)



こうなる予定 (2017.9.14 撮影)



ダリアの庭 ダリア各種 沢山の品種がある

コスモス

場所：花の丘

見頃予定：
10月頃



2020.7.9



こうなる予定 (2019.10.9 撮影)

～当社では障害者、親と暮らすことが出来ない子供たちの施設 (社会福祉法人) に皆様から頂いた書類の使用済み切手等を使い、支援活動をしています～